

## 東京都

- ①ベンチ
- ②パーゴラ

### 【概要・アピールポイント】

東京2020大会時に選手村として利用されたレガシーとして設置する。

- ①晴海緑道公園 自然石を土台に座板として配置する。選手村ビレッジプラザの木材を再利用したことを示す説明サインを設置する。
- ②晴海ふ頭公園 公園入口の海-レインボーブリッジを望む景観軸の両側にルーバーとして配置する。

### ■ 資材提供のきっかけ

東京都では、伐採・利用・植栽・保育という「森林の循環」を推進するため、「東京の木 多摩産材」の利用拡大に取り組んでおり、開催都市としてビレッジプラザへの多摩産材提供をきっかけに、木の温もりとともに、世界中からのアスリートの皆さんをお迎えし、東京、そして日本を発信する拠点とした。

### ■ 提供した木材の概要

スギ

### ■ 用途

- ①ベンチ
- ②パーゴラ



### ■ 完成/使用開始時期

- ①2022年8月
- ②2022年9月

### ■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ①晴海緑道公園
- ②晴海ふ頭公園

### ■ 完成まで・完成後のエピソード

木材は元々柱や梁、下地等で使用されており、表面仕上用の材ではなかったため、加工、製作中に表面の節や乾燥時のひび割れ等の対応に苦労した。

最後に木材に施す焼印に苦労した。押し当てる時間、木材の硬さ、湿り具合によって仕上がりが変わるため、適切に調整する必要があった。

### 問合せ先

港湾局東京港管理事務所臨海地域管理課(海上公園整備推進担当)  
電話：03-5463-0245

## 東京都

- ①内装（修景材）
- ②門扉（戸袋）化粧用ウォール
- ③案内サイン支柱

### 【概要・アピールポイント】

東京2020大会のボート、カヌー（スプリント）の会場として利用されたことを示すレガシーとして活用する。

- ①建物の内装修景材として再利用することで、温かみのある空間を演出
- ②競技場出入口の門扉に使用し、訪れる人の目に付きやすいよう工夫
- ③競技場内に点在する案内サインの支柱に使用し、訪れる人の目に付きやすいよう工夫

#### ■ 資材提供のきっかけ

東京都では、伐採・利用・植栽・保育という「森林の循環」を推進するため、「東京の木 多摩産材」の利用拡大に取り組んでおり、開催都市としてビレッジプラザへの多摩産材提供をきっかけに、木の温もりとともに、世界中からのアスリートをお迎えする拠点とした。

#### ■ 提供した木材の概要

スギ

#### ■ 用途

- ①内装（修景材）
- ②門扉（戸袋）化粧用ウォール
- ③案内サイン支柱



#### ■ 用途決定までのプロセス

東京2020大会の会場である海の森水上競技場において、解体される選手村の一部をレガシーとして活用することを検討し、ビレッジプラザの木材を再利用した整備を行うこととした。

#### ■ 完成/使用開始時期

- ① 2024年 4月
- ②③ 2023年12月

#### ■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ① 海の森水上競技場 第二艇庫棟
- ②③海の森水上競技場 各出入口付近ほか

#### ■ 完成まで・完成後のエピソード

再利用材は下地等で使用されていたため、表面の節や乾燥時のひび割れ等があったことから木材の選定や加工に苦労した。東京2020大会の会場である海の森水上競技場に設置することで、多くの訪問者の目にとまり、実際に触れていただくことで、オリンピックレガシーとしての役割を果たしていくものと考えている。

#### 問合せ先

生活文化スポーツ局スポーツ施設部施設整備課(土木技術担当)  
電話：03-5388-2243